

山科盆地を歩いてみよう!

東南ブロック 外環状線以东・新幹線以南



4-153

名神高速道路 大宅の大カーブ (東から西南を望む)

▲名神高速道路ができる以前は、ここは旧東海道線があり、蒸気機関車が煙を吐いて走っていました。撮影された頃はまだ防音壁がなく、東山連峰を見渡しながらドライブが楽しめたことでしょう。(昭和45年頃、大宅御所山町)



エリアコラム 由緒ある歴史 一里塚の榎

▶昭和45年頃撮影した一里塚の榎です。36町(約4km)を1里として、1里ごとに塚を築き、その上に榎か松の木を植えました。徳川家康がこれを整備させ、東海道などに一里塚を完成させました。今日では、ほとんどの一里塚は消滅し、京都市内でもここ大宅にのみ残っています。奈良街道の大宅甲ノ辻町、名神高速道路の北側にあります。



4-065

エリアコラム 街道を歩く 奈良街道

▼昭和45年頃の大宅古海道町周辺。旧街道らしい民家や土蔵が残る奈良街道。この頃は木の電柱が立ち並び、道の両側の水路には溝ぶたがありません。現在は交通量も多く、カーブした辺りの左側に京阪バスの山科営業所があります。現在も旧街道らしい古民家がところどころに見られます。



4-069



6-007



カヤの水沿いの道 (東から西を望む)

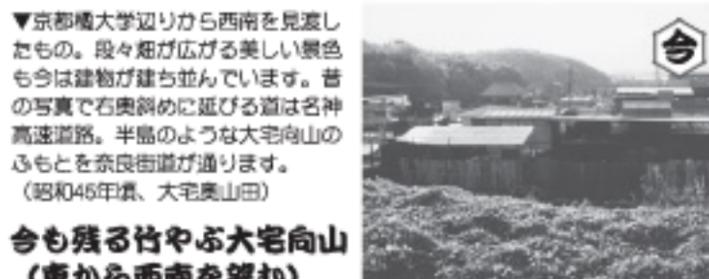
▲奈良街道から外環状線に向けて北西へと延びる道。男の子の立つ左には小野小町と深草少将の「百夜通い」の伝説ゆかりのカヤの木があります。度重なる災害や開発を逃れた、現存わずか2本のうちの1本です。(昭和33年頃、小野葛籠町)



4-177

大宅小学校東側の道 (南から北を望む)

▲今はアスファルトのこの通学路もかつては土の道。広がる田畑や竹やぶは、子ども達の格好の遊び場でした。(昭和45年頃、大宅古海道町)



今も残る竹やぶ大宅向山 (東から西南を望む)

▼京都橋大学辺りから西南を見渡した。段々畑が広がる美しい景色も今は建物が建ち並んでいます。昔の写真で右奥斜めに延びる道は名神高速道路。半島のような大宅向山のふもとを奈良街道が通ります。(昭和46年頃、大宅奥山田)



4-152



エリアコラム 有名なお寺や神社

岩屋神社



4-060

岩岩、鐘岩がご神体として祭られ、古代の石座(いわくら)信仰の形が残されている歴史ある神社です。祭神は天忍穂耳命(あめののおしほみのみこと)など三神で、その氏子区域は日ノ岡、御陵、厨子奥、大塚、大宅、柳辻と、広範囲に渡っています。写真は昭和45年頃、大宅中小路町。

随心院



4-071

小野小町ゆかりの寺として知られています。牛尾山の呼び名の由来に深く関わる、仁海僧正の開基による真言宗のお寺で、応仁の乱で焼亡後、桃山時代に再建された門跡寺院です。3月には薄紅梅が見頃となり、可憐な「はなびろり」が催されます。写真は昭和45年頃、小野御堂町。

小野の化粧橋 (北西から東南、醍醐方面を望む)

▼道の向こう側、天田川の左側一帯は随心院の境内。橋の右側は別荘見区。随心院にある小野小町ゆかりの化粧井戸にちなんで名付けられました。(昭和45年頃、小野御堂町)



4-080

